

地域志向のPBLによる キーコンピテンシーの養成

—“街の元気づくり”を教育化する試み—

1. 大学の紹介
2. 取組の概要—“街の元気づくり”活動
3. 取組の経緯—苦節10年ラーメンプロジェクト
4. 取組の課題—教員の役割

旭川大学経済学部 江口尚文

大学の紹介 —旭川大学—

◆経済学部

- ・経営経済学科(入学定員100名、以下同じ)

◆保健福祉学部

- ・コミュニティ福祉学科(40名)
- ・保健看護学科(60名)

◆大学院

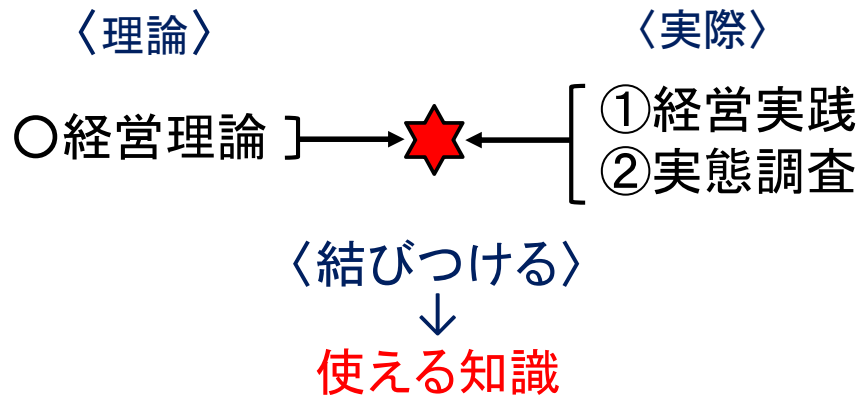
- ・経済学研究科(7名)

◆短期大学部

- ・生活学科;生活福祉専攻(50名)、食物栄養専攻(50名)
- ・幼児教育学科(100名)

取組の概要 —“街の元気づくり”活動—

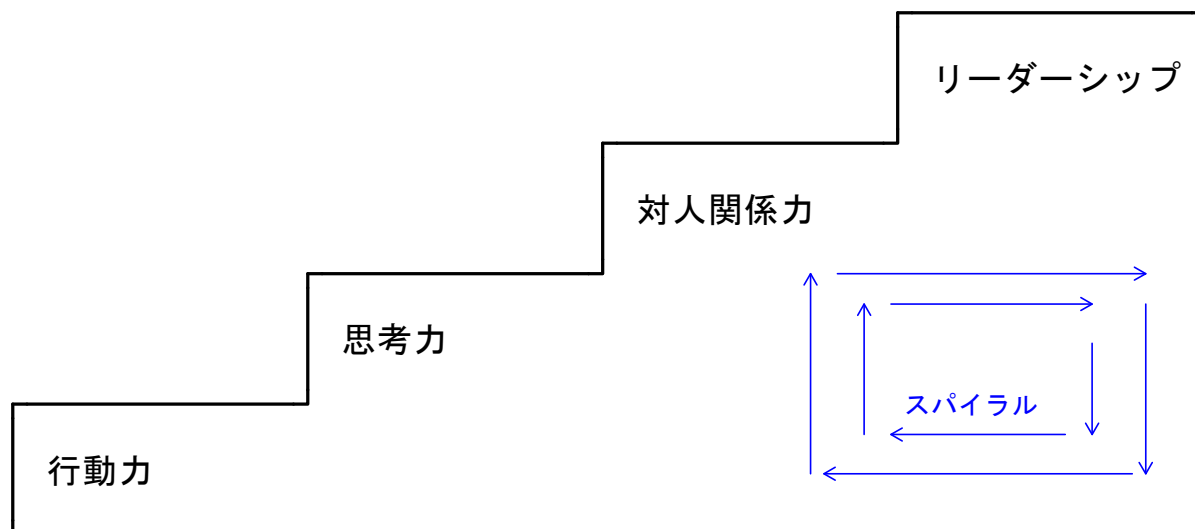
理論なき実践は無謀であり
実践なき理論は空虚である



活動の目的：暗黙知の獲得



コンピテンシーの階層とスパイラル



ドメインと昨年度の活動ポートフォリオ

- ① 経済学ラーメン出店
- ② 総菜店KOTOchan
- ③ 永山商店街MAP
- ④ 上川町の魅力MAP
- ⑤ ラーメン業界研究
- ⑥ ラーメンガイドブック
- ⑦ 旭川市労働基本調査
- ⑧ 旭川市駐車場整備計画

街の元気づくり

取組の経緯 — 苦節10年ラーメンプロジェクト —

★10年前...風評被害の払拭／地域の教育化★

①「大学(社会科学系)で学んだことは社会で役に立たない」

②「大学の教員は口ばかりで何もできない」

..払拭..

★ゼミ活動により地域活性化と教育の「新結合」をめざす★

◆ラーメン業界の研究 → 10年経て『今日も旭ラー』出版◆

◆江口ラーメンの出店 → 10年経て地域に根付く◆

訪問したラーメン店145軒 (2014年)



食べたラーメン413杯 (2014年)



インタビューした経営者165人 (2014年)



打ち合わせ・執筆・大詰め局面 (2015年2月)



『今日も旭ラー』: ジュンク堂 旭川店 文芸部門 販売ランキング

- | | | | | | |
|----------------|----|-----------------|----|-----------------|----|
| 1) 3月21日～3月27日 | 1位 | 9) 5月16日～5月22日 | 1位 | 17) 7月11日～7月17日 | 3位 |
| 2) 3月28日～4月3日 | 1位 | 10) 5月23日～5月29日 | 1位 | 18) 7月18日～7月24日 | 1位 |
| 3) 4月4日～4月10日 | 1位 | 11) 5月30日～6月5日 | 1位 | 19) 7月25日～7月31日 | 4位 |
| 4) 4月11日～4月17日 | 1位 | 12) 6月6日～6月12日 | 1位 | 20) 8月1日～8月7日 | 4位 |
| 5) 4月18日～4月24日 | 1位 | 13) 6月13日～6月19日 | 2位 | 21) 8月8日～8月14日 | 2位 |
| 6) 4月25日～4月30日 | 1位 | 14) 6月20日～6月26日 | 1位 | 22) 8月15日～8月21日 | 2位 |
| 7) 5月2日～5月8日 | 1位 | 15) 6月27日～7月3日 | 2位 | | |
| 8) 5月9日～5月15日 | 1位 | 16) 7月4日～7月10日 | 1位 | | |

★ 出版後12週連続1位、全22週ランクインして1位が15週 ★

ラーメン修行: あさひ食堂(上川町)



仕込み(短期大学部 調理実習室)



出店当日(駅マルシェ・さんろく祭り・食のガーデン・大学祭)



昨年の「江口ゼミ・経済学ラーメン」の実績

- 売上数: 3,457 杯
- 売上額: 1,461,850 円
- 費用: 1,011,900 円
- 原価率: 69.2%
- 利益: 449,950 円

旭川・上川

2015年（平成27年）3月1日（日曜日）

北海道新聞

街の元気づくり 旭川ラーメン研究



2年連続で最優秀賞に輝いた旭川大江口ゼミのメンバー

北海道・東北にある17大 催。2月8日に開催され、今
学で組織する実行委の主 回は旭川大のほか札幌市立

道・東北ブロック学生発表会

旭川大学経済学部の江口尚文教授のゼミが秋田市
で開かれた、地域貢献や産学官連携活動などの成果
を紹介する「北海道・東北ブロック学生発表会」で
最優秀賞を受賞した。学生たちは同ゼミが長年取り
組む旭川ラーメンの研究について説明。座学ではな
く、実践を通して学ぶ姿勢が評価され、昨年に続け
て2年連続の栄誉に輝いた。
(高橋毅)

旭大江口ゼミ 連続最優秀

メニュー開発、ガイド作成 活動と熱意評価

大秋田大、岩手大など計6
大学の8グループが発表。
江口ゼミのテーマは「ラ
ーメンによる、街の元気づ
くり」。3810杯の魔
力。学生たちが実際のラー
メン店で修業して学んだ味
を元に、原価率を計算して
地場産食材にこだわって生
み出した「経済学ラーメン」
をイベントに出店、販売し
てきたことを報告した。
また独自に制作した旭川
ラーメンのガイドブック
「旭ラー」のために143
店を取材した成果として、
「多くの地元の食材を使い、
スープに手間ひまをかけた
品質の高さが旭川ラーメン
の特徴」と結論づけた。3
810杯は、イベントのため
に学生が食べたラーメンの
数を合わせたものだ。
発表したのはリーダーの
秋山凌さん（3年）、川島
直也さん、阿部恵輔さん、
中沢和希さん（いずれも2
年）の4人。20分間の発表
内容を登壇前日まで徹夜す
るなどして仕上げた。秋山
さんは「地道に積み上げて
活動した成果が認められ
た」と喜ぶ。江口教授は「旭
川の魅力を知ってもらいた
いという学生の熱意が伝わ
った結果だ」と話した。

取組の課題 —教員の役割—

- ① 活動の継続（経験効果／ブランド化）
- ② 場の開拓（新規プロジェクト）
- ③ 高い目標の設定（創造的カオス）
- ④ 徹底した理論化の支援（学術的品質）
- ⑤ リスクマネジメント（事故回避）
- ⑥ 資金繰り（活動維持）

江口ゼミのPPM

